

早めの備えが命を守る

みんなで確認 避難の備え

災害から命を守るために大切なのは、「そのとき」ではなく「その前」の備えです。大雨や地震など、いつ起こるか分からない災害に備え、避難するタイミングや避難先、避難方法などを、家族や地域の人たちとあらかじめ確認しておきましょう。

問い合わせ 危機管理課 (☎35-0923)



■大雨のときの避難のタイミングを決めておきましょう

近年、大雨による浸水や土砂災害が多発しています。大雨のときは、状況が急変し、避難が遅れると危険が高まります。避難するタイミングや避難先、連絡方法を事前に話し合い、落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。

事例紹介：実災害にみる『避難のタイミングの難しさ』

災害名	主な被災地	被害状況
平成30年7月豪雨	西日本 広島県中心	同時多発的な土砂災害などにより、200人超が犠牲になりました。
令和2年7月豪雨	熊本県	老人ホームの14人が浸水被害で犠牲になりました。 死者の8割が65歳以上になるなど、高齢者の被害が目立ちました。
令和8年8月豪雨	千葉県	13人が犠牲になり、住宅6,200棟超が浸水しました(9月9日時点)。 冠水した道路で車ごと水没し、亡くなる事例も相次ぎました。

■大雨のときの避難行動のポイントを紹介

👉 むやみに近づかない

大雨のときは、低い道路やアンダーパス(道路の下をくぐる低い立体交差)には、雨水が急激に溜まり、車が水没したり立ち往生したりする重大な危険があります。むやみに近づかないようにしましょう。その判断があなたや大切な人の命を守ります。



👉 ハザードマップを活用

ハザードマップは、自然災害によって起こり得る危険な場所を示した地図です。このマップを活用して、土砂災害警戒区域や浸水想定区域について確認しておきましょう。自宅だけでなく、通勤経路・通学路やよく行く場所についても、確認しておきましょう。



ハザードマップは市ホームページ(上記)から確認できます▲

👉 防災気象情報を確認

大雨・台風の場合は、警戒レベル4(避難指示)までに、全員危険な場所から必ず避難しましょう。高齢者や障がい者、乳幼児など避難に時間のかかる人とその支援者は、警戒レベル3(高齢者等避難)で避難しましょう。

	河川氾濫	大雨	土砂災害
警戒レベル5相当	レベル5 冠水特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒
警戒レベル4相当	レベル4 冠水危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒
警戒レベル3相当	レベル3 冠水警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒
警戒レベル2	レベル2 冠水注意警戒	レベル2 大雨注意警戒	レベル2 土砂災害注意警戒
警戒レベル1	早期注意警戒		

※5月下旬より、警戒・注意報に警戒レベルをあわせて発表しています。